

Title	学術の発展と人類の幸福のために
Sub Title	
Author	子安, 増生(Koyasu, Masuo)
Publisher	慶應義塾大学グローバルCOEプログラム論理と感性の先端的教育研究拠点
Publication year	2007
Jtitle	Newsletter Vol.2, (2007. 12) ,p.1- 1
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12002003-00000002-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

Newsletter

2007 December No. 2



Centre for Advanced Research on Logic and Sensibility

学術の発展と人類の幸福のために

京都大学大学院教育学研究科教授
心が活きる教育のための国際的拠点・拠点リーダー
<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/gcoe/>

子安 増生



「論理と感性の先端的教育研究拠点」の採択、おめでとうございます。

グローバル COE の前身の 21 世紀 COE プログラム平成 14 年度採択分のうち、「心」を研究する 4 つの拠点（北海道大学、慶應義塾大学、お茶の水女子大学、京都大学）が引き続きグローバル COE として活動を継続できるようになったことは、まことに欣快事です。また、慶應義塾大学グローバル COE が「ロゴスとパトス」の関係という古典的かつ現代的なテーマを設定されたこと、その慧眼に敬意を表させていただきます。

京都大学でも、21 世紀 COE 「心の働きの総合的研究教育拠点」を発展的に継承した「心が活きる教育のための国際的拠点」が採択されました。心理学分野と教育学分野の有機的連携により、実証学・実践学・臨床学の三学を柱とし、「幸福感の国際比較研究」を実施し、国際的ネットワークづくりを進めていきたいと考えております。慶應義塾大学ともグローバル COE の活動を通じて今後一層の連携を深めていきたいので、よろしくお願ひ申し上げます。

まことにタイミングがよいことに、慶應義塾大学と京都大学とは「ヒト・社会・地球」のための連携協力を推進するため、2007 年 9 月 27 日に連携協力に関する基本協定書に調印いたしました。協定が目指すところは次の 3 点です。

- (1) 基礎から応用までの各領域での共同研究・研究協力の推進。
- (2) 大学の博士課程以上の学生・ポストドクの研究における武者修行の場。
- (3) 一校だけではできない、より大規模な研究国際ネットワークの構築・発展。

グローバル COE の巨額の資金が一大学や一研究分野の発展だけを目指すものにすぎなければ、国民からの理解と支持は得られません。学術全体の発展と人類の幸福に貢献することによって、拠点の説明責任を果たすとともに、そのような活動を通じて研究者の心も生きてきます。重ねてよろしくお願ひします。

Contents

学術の発展と人類の幸福のために 子安 増生	1
各班研究紹介	2
リサーチパークで行われる 研究の紹介	4
活動報告	6
研究員紹介	8